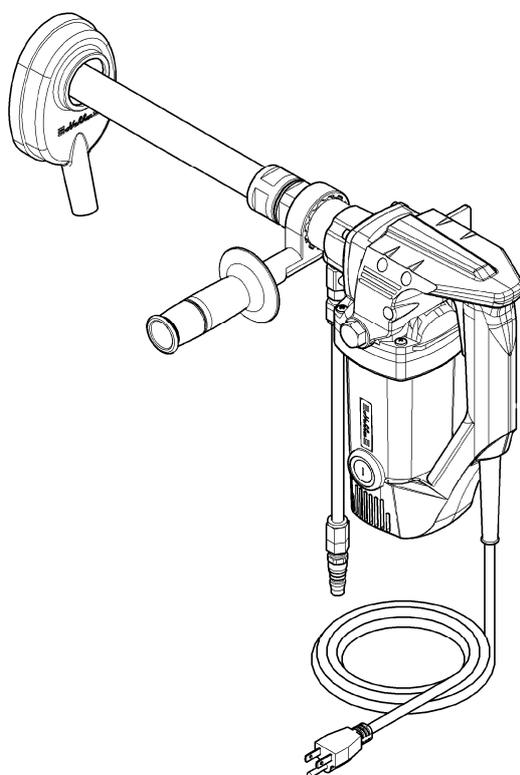




アンカードリル（湿式）

A D W - 0 3 1 A s

取扱説明書



本製品は、水を使用する工具です。
かならず接地（アース）してください。

- ◎ このたびはお買い上げいただき、ありがとうございました。
- ◎ ご使用前に、この「取扱説明書」すべてをよくお読みのうえ、指示にしたがって正しく安全に使用してください。
- ◎ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管してください。

CONSEC CORPORATION

接地(アース)について

本製品は、給水式アンカードリルです。JIS規格により感電防止のために接地(アース)する必要があります。さらに内部構造は二重絶縁または強化絶縁構造になっており、より感電しにくくなっています。(参照 JIS C 9029-2-6)

騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規則があります。ご近所などの周囲に迷惑をかけないように規制値以下で使用するため、状況に応じて遮音壁を設けてください。

注意文の「▲警告」・「△注意」・「ポイント」の意味について

ご使用上の注意事項は「▲警告」・「△注意」と「ポイント」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

▲警告 : 誤った取扱いをした時に、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意 : 誤った取扱いをした時に、使用者が障害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

ポイント : 製品の据付け、使用方法、メンテナンスに関する重要な事項。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

目次

1. 警告および注意	
【1】電動工具の安全上のご注意	2
【2】アンカードリルの使用上のご注意	4
【3】アンカービットの使用上のご注意	7
2. 各部の名称	8
3. 仕様	9
4. 標準付属品	9
5. 用途	9
6. オプション品（別売）	10
7. 使用時全体図および仕様	
【1】標準使用時	11
【2】パッドホルダ PH-300W(PH-400W)《オプション品》使用時	11
8. 使用方法	
【1】サイドグリップの取付け	12
【2】アンカービットの取付け	13
【3】吸着式水処理パッドの取付け	13
【4】給水の準備	14
【5】穴あけ作業	15
【6】穴あけ作業終了	16
9. 作業中のトラブルと対策	
【1】作業中のトラブルと対策方法	18
【2】アンカービットがロックした場合の解決方法例	19
10. 点検・保守・修理	
【1】作業前点検	20
【2】定期点検	20
【3】保守	21
【4】修理について	21
11. 製品の保管	22

1. 警告および注意

- ◎ ご使用前に、この「警告および注意」すべてをよくお読みのうえ、指示にしたがって正しく使用してください。
- ◎ 火災・感電・けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「電動工具の安全上のご注意」「アンカードリルの使用上のご注意」「アンカービットの使用上のご注意」を必ず守ってください。
- ◎ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

【1】 電動工具の安全上のご注意

▲ 警告

1. 指定された用途以外には使用しないでください。
2. 作業員以外は施工場所へ近づけないでください。
 - ◎ 作業員以外、電動工具やケーブルに触れさせないでください。
3. 施工場所の周囲状況も考慮してください。
 - ◎ 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
 - ◎ 施工場所は十分明るくしてください。
 - ◎ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
 - ◎ ちらかった施工場所は、事故の原因となります。
4. 安全保護具を使用してください。
 - ◎ 作業時は、保護めがねを着用してください。
 - ◎ 滑り止めのついたゴム手袋と履物を着用してください。
 - ◎ 粉じんの多い作業では、防じんマスクを着用してください。
 - ◎ 耳せん、耳覆い(イヤーマフ)などの防音用保護具を着用してください。
5. 作業に適した服装をしてください。
 - ◎ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。
 - ◎ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
6. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ◎ 常に足元をしっかりとらせ、バランスを保つようにしてください。
7. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ◎ 電動工具を使用する場合は、取扱方法・作業の仕方・周りの状況など十分に注意して慎重に作業してください。
 - ◎ 回転物には手や身体を近づけないでください。巻き込まれたり、けがをする恐れがあり危険です。
 - ◎ 可動部分や接続部分などに、手や足を挟まないように注意してください。
 - ◎ 疲れている場合は、使用しないでください。

▲ 警告

8. 感電に注意してください。
 - ◎ 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。
 - ◎ 必ず労働安全規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電遮断装置の設置された電源を使用してください。
 - ◎ 本製品は作業者を感電事故より守るために、二重絶縁構造を施してありますが、より安全を期するために、必ずゴム長靴・ゴム手袋を着用してください。
9. ケーブルを乱暴に扱わないでください。
 - ◎ ケーブルを持って電動工具を運ばないでください。
 - ◎ ケーブルを引張って電源から抜かないでください。
 - ◎ ケーブルを熱・油・角のとがった所に近づけないでください。
10. 指定の付属品やオプション品を使用してください。
 - ◎ 本取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品や、オプション品以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。
11. 損傷した部品がないか点検してください。
 - ◎ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないかしっかりと点検し、正常に作動し、所定の機能を発揮するか確認してください。
 - ◎ 可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす、すべての箇所に異常がないか確認してください。
 - ◎ 損傷・故障した部品交換や修理は、取扱説明書の指示にしたがってください。
 - ◎ 取扱説明書に指示されていない場合は、お買い求めの販売店または、コンセック各営業所に修理を依頼してください。
 - ◎ スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
 - ◎ スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店または、コンセック各営業所で修理を行ってください。
12. 次の場合は電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
 - ◎ 使用しない、または、修理する場合。
 - ◎ 刃物などの付属品を交換する場合。
 - ◎ その他危険が予想される場合。
13. 調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ◎ 電源を入れる前に、点検・調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
14. 電動工具は注意深く手入れをしてください。
 - ◎ 付属品の交換は、取扱説明書にしたがってください。
 - ◎ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
 - ◎ ケーブルは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店または、コンセック各営業所に修理を依頼してください。
 - ◎ 延長ケーブルを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。

▲ 警告

15. きちんと保管してください。
 - ◎ 乾燥した場所でお子様の手のとどかない安全な所、または錠のかかる所に保管してください。
16. 不意な始動は避けてください。
 - ◎ 電源につないだ状態で運ばないでください。
 - ◎ プラグを電源に差込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
17. 屋外使用に合った延長ケーブルを使用してください。
 - ◎ 屋外で使用する場合、3芯キャブタイヤコードまたは、3芯キャブタイヤケーブルの延長ケーブルを使用してください。
18. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ◎ 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
19. 電動工具の修理は専門店で依頼してください。
 - ◎ 本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
 - ◎ 修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。
 - ◎ 修理は、必ずお買い求めの販売店または、コンセック各営業所にお申し付けください。

【2】アンカードリルの使用上のご注意

▲ 警告

1. 必ず接地(アース)してください。
 - ◎ 故障や漏電の時、感電する原因になりますので、アース付プラグを電源コンセントに合わせて接地(アース)してください。
 - ◎ 接地と共に感電防止用漏電遮断器の設置された電源を使用してください。
 - ◎ 漏電遮断器や接地については、次の法規がありますので、ご参照ください。
※労働安全衛生規則 第333条・第334条
電気設備の技術基準 第18条・第28条・第41条
2. 電線管・ガス管・水道管などの埋設物に注意してください。
 - ◎ 電気が流れている電線や電線管などに接触すると感電する恐れがあります。
 - ◎ 壁・床などに穴あけを行う場合は、埋設物のチェックをしっかりと行ってください。
3. 石綿(アスベスト)は人体に有害です。このような成分を含んだ材料に穴あけをする時は、関係法令にしたがって防じん対策をしてください。
4. ゴム手袋・ゴム長靴は必ず着用してください。
 - ◎ 本製品は、水を使用しますので、作業中は必ずゴム手袋・ゴム長靴を着用してください。
5. 天井面への作業はしないでください。
 - ◎ 本製品は水を使用するため、天井面への穴あけはモータ内部に水が入り、非常に危険です。

⚠ 警告

6. 高所での作業は、関係法令にしたがって作業してください。
 - ◎ 安全な足場を確保して、足場より1.5m以上での作業はしないでください。
 - ◎ 高所での作業の場合は、十分にスペースのあるしっかりした足場を確保してください。
 - ◎ 高所での作業の場合は、施工場所の下に人を入れないようにしてください。
7. つなぎケーブルを使用する時は、アース線を備えた3芯延長ケーブルを使用してください。
 - ◎ アース線のない2芯延長ケーブルですと、感電の原因となります。
8. 使用電源は銘板に表示してある電源を使用してください。
 - ◎ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因となります。
9. 電源プラグを差込む前にロックレバーがロックOFFになっていることと、スイッチロックボタンが入っていないことを必ず確認してください。
 - ◎ ロックレバーをロックON状態で始動させると、ロックされた状態のためモータが故障する恐れがあります。
 - ◎ トリガースイッチのスイッチロックボタンが入った状態で固定されていると、気づかずにプラグを電源に差込んだ時、不意にメインシャフトが回転し大変危険です。
10. 吸着式水処理パッドを必ず使用してください。
 - ◎ 作業中に水が飛散して、モータ内部に水が入るのを防止するためにも、吸着式水処理パッドは必ず使用してください。
 - ◎ 吸着式水処理パッドを使用する時は、落下および水漏れがないようにしっかりと吸着させてください。
11. メインシャフトおよびアンカービットにガタ付きや振れがないことを確認してください。
 - ◎ メインシャフトおよびアンカービットの振れが大きいと、アンカービットが破損し、けがをする危険があります。
12. アンカービットはしっかりと取付けてください。
 - ◎ アンカービットは必ずスパナでしっかり締付けてください。
13. 当社指定のアンカービット以外は使用しないでください。
 - ◎ 指定以外のアンカービットを使用されるとトラブルの原因となります。
14. 適用アンカービット呼径を超えるアンカービットは使用しないでください。
15. 最大穴あけ深さは、400mmを超えないでください。
 - ◎ 深さ400mm以上の穴あけを行わないでください。
16. 絶対に片手で穴あけを行わないでください。サイドグリップを必ず取付けて、アンカードリルをしっかりと保持してください。
 - ◎ 穴あけ中は、アンカードリルに大きな回転反力がかかります。特に、切込み時や、誤って鉄筋を穴あけした場合に注意してください。
 - ◎ ハンドル・サイドグリップを持って、アンカードリルをしっかりと固定できるようにしてください。
17. 穴あけ面に対して直角になるように穴あけを行ってください。

⚠ 警告

18. 穴あけ途中にアンカードリルをこじったり、無理に強く押付けたりしないでください。
 - ◎ モータに無理がかかるばかりでなく、アンカードリル自体に強い反発力が生じ、けがの原因となります。
19. 回転中のメインシャフトおよびアンカービットには絶対に触れないでください。
 - ◎ 回転中のメインシャフトおよびアンカービットには、手や身体を近づけないでください。巻き込まれたり、けがをする恐れがあります。
20. モータの風穴をふさいだり、風穴に物を入れないでください。
21. 異常時にはただちに作業を中断し、電源からプラグを抜いてください。
 - ◎ 穴あけ中にアンカービットが止まったり、異音を発した時は、ただちにトリガースイッチを離してメインシャフトの回転を止めて、電源からプラグを抜いてください。
22. 貫通側の安全に注意してください。
 - ◎ 貫通穴あけ時に切削コアがアンカービット内から抜け落ちたり、切削水が漏れたりすることがありますので、人や物にあたらないように、防護対策や処理方法を確実にいき、作業を始めてください。
23. 貫通穴あけをする場合は、貫通する直前に押付力を弱めてください。
 - ◎ 貫通時の勢いで身体が不安定になったり、飛散した切削片があたって、けがをする危険があります。また、貫通時に切削コアが抜け落ちて、けがをする危険があります。
24. ロックレバーガード等の突起物を引っかけて、けがをしないように注意してください。
25. サイドグリップを持って運ばないでください。
 - ◎ サイドグリップの締付けが弱いと、アンカードリルがはずれ落下する危険があります。

⚠ 注意

1. 無理して使用しないでください。
 - ◎ 安全に能率よく作業するために、機器の能力に合った仕様で作業してください。
2. アンカービットの取扱説明書をよく読み、指示にしたがって正しく使用してください。
3. アンカービットが穴あけ面に接した状態で、モータを回転させないでください。
 - ◎ アンカービットやアンカードリルの破損の原因となります。
4. 穴あけ作業はアンカービットが全速回転になってから行ってください。
5. 作業中に誤ってロックレバーをロックONに入れて、メインシャフトをロックさせないようにしてください。

⚠ 注意

6. 電源が離れていて、延長ケーブルが必要な時は、本製品を最高の性能で支障なくご使用していただくために、十分な太さのケーブルをできるだけ短くお使いください。

◎ 使用できる延長ケーブルの太さ(公称断面積)と最大長さの目安

公称断面積	電線の最大長さ
1. 2.5 mm ² × 3 芯	10 m
2. 4.0 mm ² × 3 芯	20 m
3. 5.0 mm ² × 3 芯	30 m
5. 5.0 mm ² × 3 芯	50 m

【3】 アンカービットの使用上のご注意

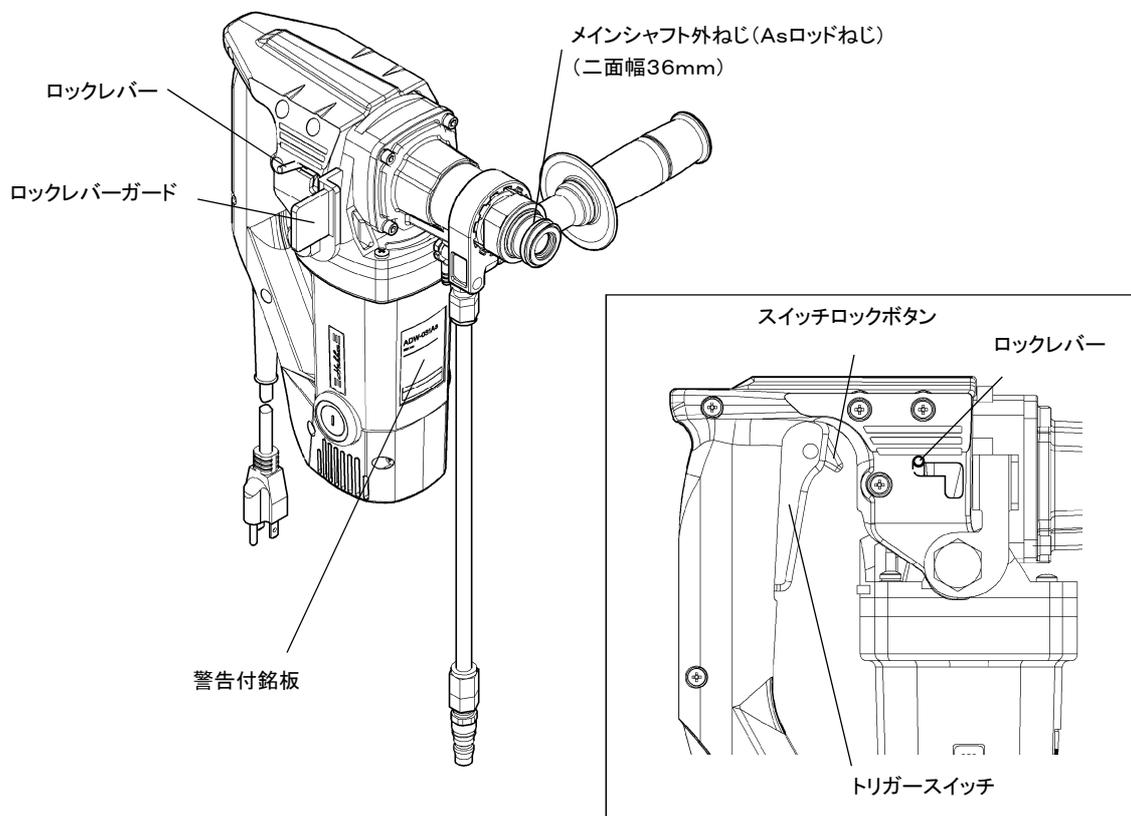
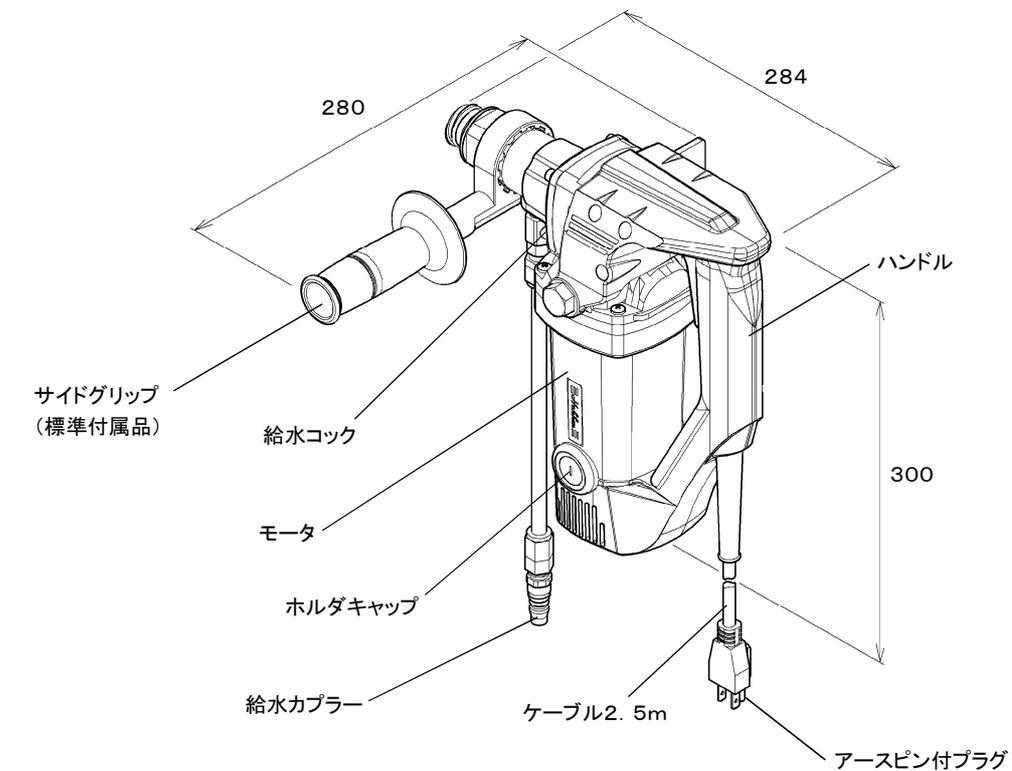
⚠ 警告

1. アンカービットの取扱説明書をよく読み、指示にしたがって正しく使用してください。
2. 当社指定のアンカードリルに取付けて使用してください。
3. アンカービットにひび割れ・欠け・変形がないことを目視や手で確認してください。
4. アンカービットのチップ(刃部)・シャンク部に異常摩擦がないことを確認してください。
 - ◎ 異常摩擦を発見した場合は、アンカービットを交換してください。
 - ◎ 耐震補強工事を目的としたアンカービットです。鉄筋を切削するとチップの異常摩擦やシャンク部の破損の恐れがあります。
5. 急激なこじり・大きな衝撃などを与えないでください。
 - ◎ アンカービットの刃部の破損やシャンク部が変形する原因となり危険です。
6. アンカービットを落としたり、ぶつけたりしないでください。アンカービットの振れの原因となり、アンカービットが破損することがあります。
7. アンカービットの形状を変えるような加工をしないでください。

⚠ 注意

1. アンカービットの取付けねじ部にはグリースを塗布してください。
 - ◎ アンカービットを取付ける時に、ねじ部にグリースを塗布しておくことで作業後の取りはずしが容易になり、錆付き防止にもなります。
2. 穴あけする時は必ず給水を行ってください。
 - ◎ アンカービットは加熱すると寿命が短くなり穴あけ能率も低下するため、必ず給水を行ってください。
 - ◎ 清水以外(循環水等)の水を使用すると、アンカードリルの故障の原因となります。必ず清水を使用してください。

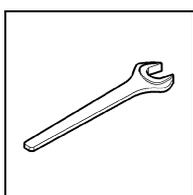
2. 各部の名称



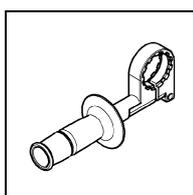
3. 仕様

型式名	ADW-031As
モータ	単相直巻整流子モータ
使用電源	単相交流 50/60Hz 電圧 100V
定格電流	15A
最大出力	2600W
無負荷回転速度	6000min ⁻¹
適用アンカービット呼径	10~32mm
アンカービット取付けねじ	Asロッドねじ
質量 (ケーブルを除く)	4.9kg

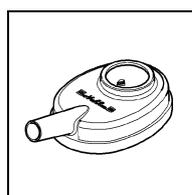
4. 標準付属品



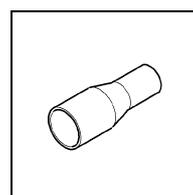
片ロスパナ
36mm
…1ヶ



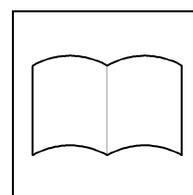
サイドグリップ
…1ヶ



吸着式水処理パッド
AP-32W
…1ヶ



ジョイント22-38
…1ヶ



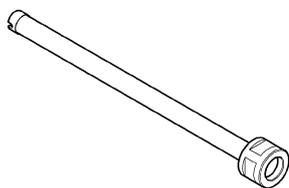
取扱説明書
…1ヶ

5. 用途

- ◎ 耐震補強工事のアンカー下穴あけ。
- ◎ 打撃音を出せない場所での穴あけ。

6. オプション品 (別売)

ADW用アンカービット
Asロッドねじタイプ

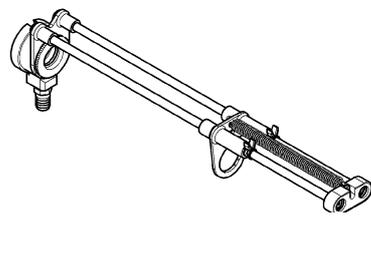


湿式専用のアンカービット(Asねじタイプ)で、穴あけの径に応じて、各サイズがあります。

呼径	外径×内径 [mm]	有効長 [mm]	全長 [mm]
10.0	10.1×6.1	150	196
10.5	10.6×6.6		
12.5	12.6×8.6		
12.7	12.8×8.8	200	246
14.5	14.6×10.6		
16.0	16.1×12.1		
18.0	18.1×14.1	250	296
19.0	19.1×15.1		
20.0	20.1×16.1		
22.0	22.1×18.1	300	346
24.0	24.1×20.1		
25.0	25.1×21.1		
28.0	28.1×24.1	350	396
30.0	30.1×26.1	400	440
32.0	32.1×28.1		

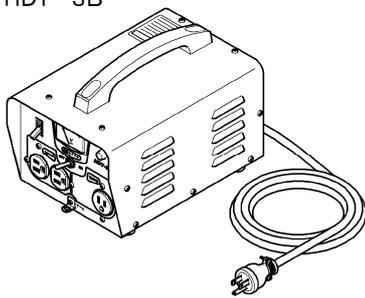
※全長は新品時チップの先端を含めた長さです。

パッドホルダ
PH-300W(400W)
PH-300(400)



吸着式水処理パッドが吸着しない場所で、の穿孔作業時に使用します。

ハードトランス(ポータブル変圧器)
HDT-3B



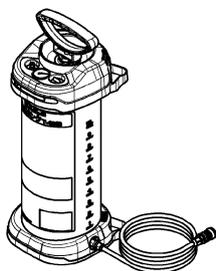
電源電圧が低下している時や、200V電源を100V・115V・120Vに変圧したい時に使用します。

給水タンク
T-6B



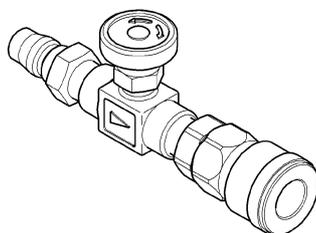
タンク容量が6.5リットルと軽量で、小型機種の穴あけに最適な樹脂製給水タンクです。

給水タンク
T-13B



給水の不便な場所で使用します。タンク容量は13リットルで、空気圧により高所へも注水できます

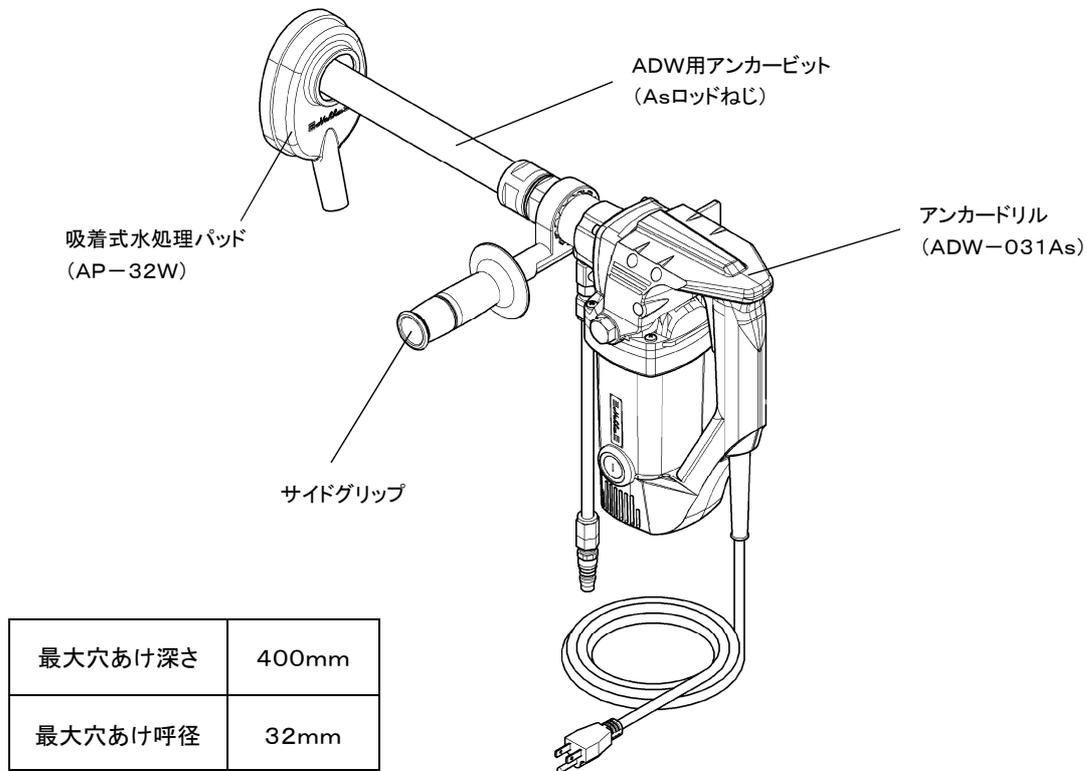
流量調整バルブ 1/4



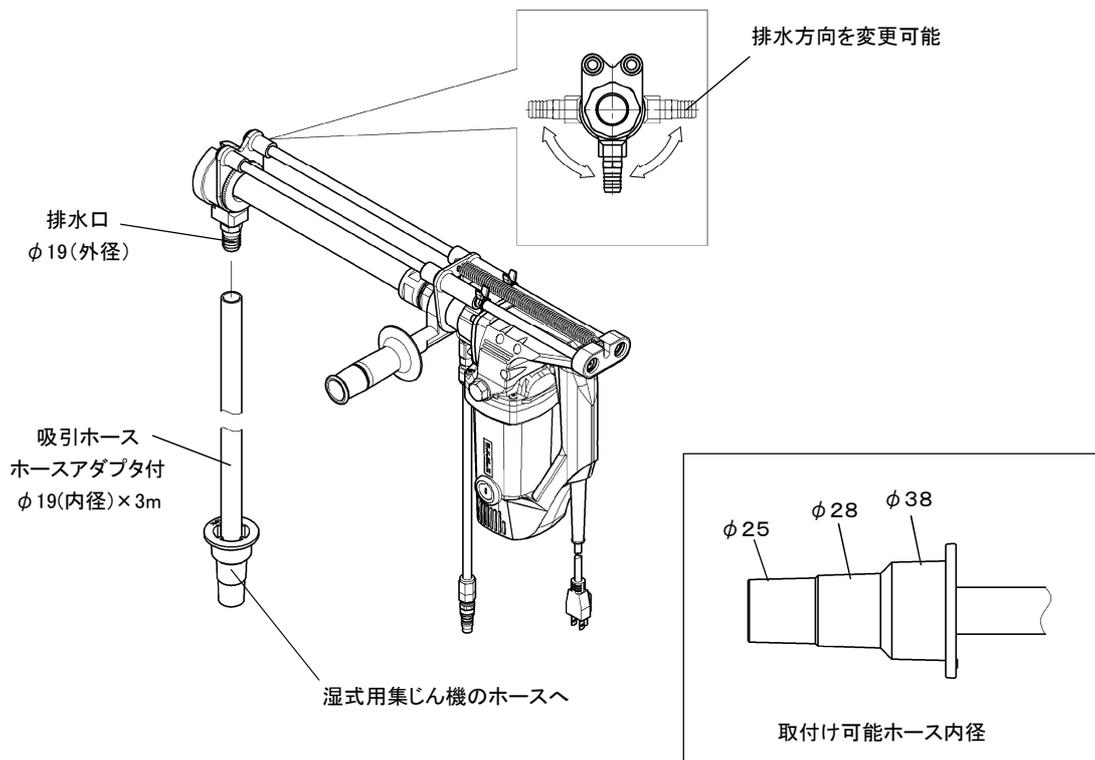
切削水量を調整するバルブです。バルブで微調整しておけば、給水コックの開閉だけで済みます。

7. 使用時全体図および仕様

【1】標準使用時



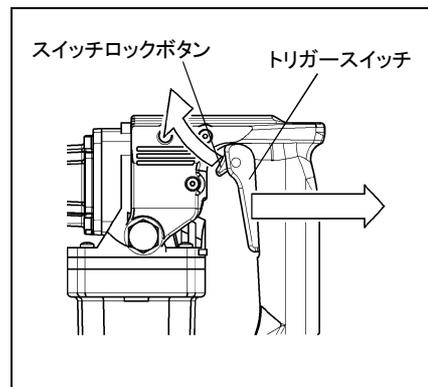
【2】パッドホルダ PH-300W(PH-400W)《オプション品》使用時



※パッドホルダPH-300W(PH-400W)の取扱説明書をよくお読みのうえ、指示にしたがって正しく使用してください。

8. 使用方法

- ◎ 本製品はソフトスタート回路を内蔵しています。
 - ・トリガースイッチを引くと、モータ始動時の反動を抑え、メインシャフトがスムーズに回転しはじめます。
 - ・トリガースイッチを離すとメインシャフトの回転が止まります。
- ◎ トリガースイッチを引き、スイッチロックボタンを矢印の方向に上げると、トリガースイッチが固定されます。メインシャフトを停止させるには、もう一度トリガースイッチを引いてください。スイッチロックボタンが解除され、トリガースイッチがOFFの状態に戻ります。

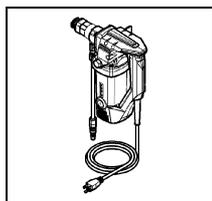


⚠ 警告

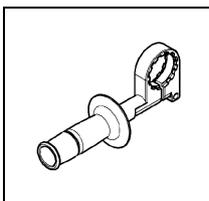
穴あけ作業以外の時は、必ずプラグを電源から抜いてください。

【1】 サイドグリップの取付け

準備するもの



アンカードリル
… 1ヶ

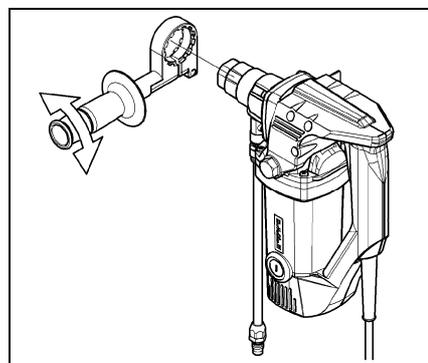


サイドグリップ
… 1ヶ

- ◎ サイドグリップをアンカードリルに取付け、しっかり締付けて使用してください。サイドグリップは360° どの位置にも固定できます。作業しやすい位置に調整し、固定して使用してください。

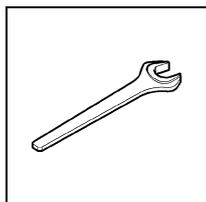
⚠ 警告

1. サイドグリップを取付けないで作業を行うと危険です。サイドグリップは必ず取付けて、両手でしっかりと保持して作業してください。
2. サイドグリップが締付け不足の状態で行うと危険です。アンカードリルにしっかりと締付けて固定してください。

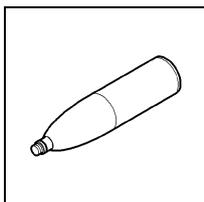


【2】アンカービットの取付け

準備するもの

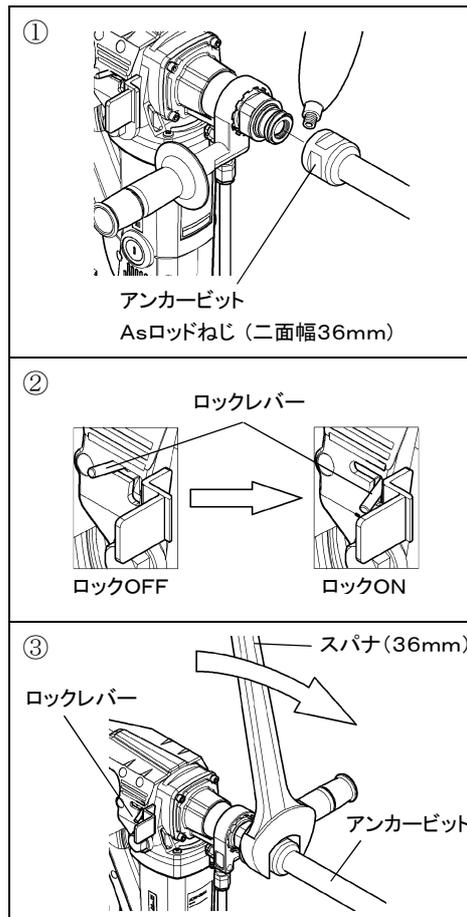


片ロスパナ
36mm
…1ケ



グリース
…1ケ

- 1) 図①のようにグリースをアンカービットねじ部に少量塗布する。メインシャフト(Asロッドねじ)のねじ部がアンカービットねじ部にはまり込むまでねじ込む。
- 2) 図②のようにロックレバーをロックOFFからロックONに移動させてロックする。(かみあうまでアンカービットをまわしてください。)
- 3) 図③のように必ず片ロスパナ(36mm)で締付けてください。



⚠ 警告

アンカービットの取付けおよび取りはずしは、必ず電源ケーブルのプラグを電源から抜いて行ってください。

⚠ 注意

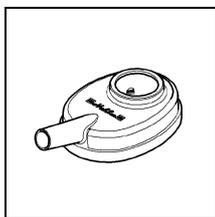
作業時は、必ずゴム手袋を着用し、けがのないように注意してください。

ポイント

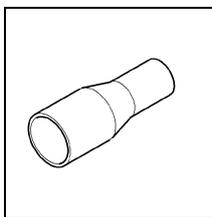
アンカービットを取付ける時、グリースを塗布すると、作業後の取りはずしが容易になります。

【3】吸着式水処理パッドの取付け

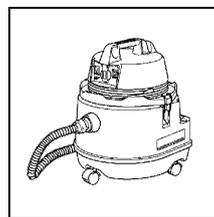
準備するもの



吸着式水処理パッド
AP-32W
…1ケ



ジョイント22-38
…1ケ



湿式用集じん機
…1ケ

- 1) 吸着式水処理パッド(以下水処理パッド)の排水口に、湿式用集じん機のホースを接続してください。

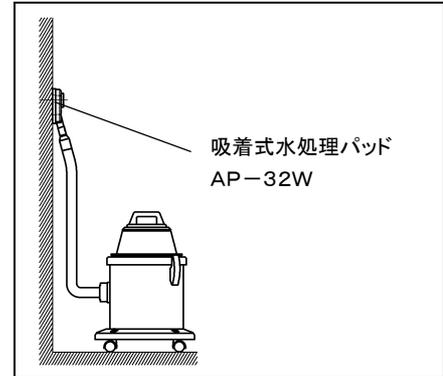
ポイント

集じん機のホースがφ38mmの時は、標準付属品のジョイント22-38を使用して口径変更してください。

- 2) 湿式用集じん機のスイッチを入れてください。
- 3) 水処理パッドを穴あけ位置にあわせて吸着してください。

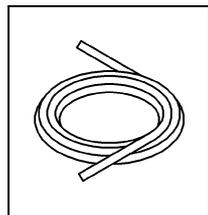
▲ 警告

1. 使用する湿式用集じん機の取扱説明書にしたがって使用してください。
2. 水処理パッドは、穴あけ中に落下しないようしっかりと吸着してください。
3. 水処理パッドを壁面に設置する場合は、パッドの口穴から水があふれ出ないように注意してください。

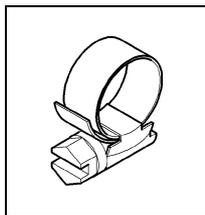


【4】給水の準備

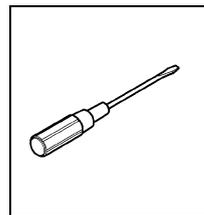
準備するもの



ホース
…1ケ



ホースバンド
…1ケ



ドライバー
…1ケ

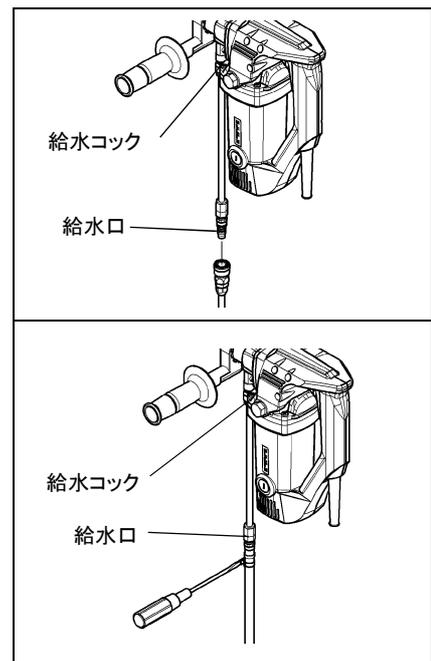
- ◎給水コックを閉じて水道からのホースを給水用カップラーまたは、給水用ホースを接続してください。給水ホースの場合はホースバンドで締付けてください。

▲ 警告

1. アンカードリルの破損の原因になりますので、給水には必ず清水を使用してください。
2. 穴あけ作業中に給水が止まらないようにしてください。給水不足になるとアンカービットがロック(固着)する恐れがあります。

ポイント

給水コックにはハイカップラソケット20MS(日東工器)やジョプラWナットタイプTN-6. 5WR(ジョプラックス)等のハイカップラ仕様のソケットが取付け可能です。



【5】 穴あけ作業

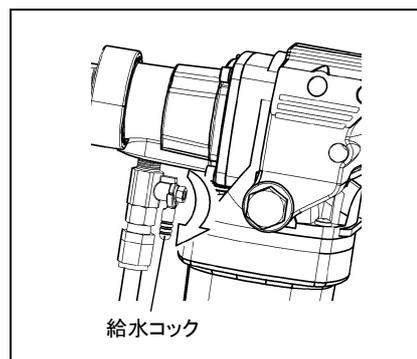
⚠ 警告

1. 電源にプラグを差込む前に、ロックレバーがOFF(13頁図②参照)になっていることと、トリガースイッチのスイッチロックボタンが入っていないことを必ず確認してください。
2. 穴を貫通させる場合は、貫通側の安全対策を行ったうえで作業してください。

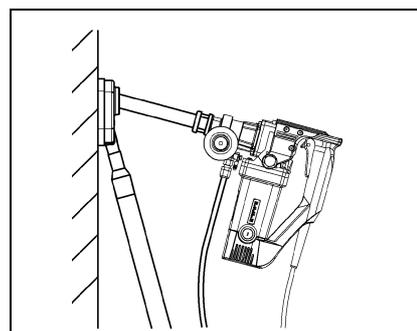
- 1) プラグを電源に差込んでください。
- 2) 給水コックを開き、水道の蛇口をあけ、給水量を調整してください

⚠ 注意

1分間に2リットル程度給水してください。



- 3) トリガースイッチを引き、切込みを行ってください。
 - ① アンカービットを水処理パッドの穴に差込んでください。
 - ② アンカードリルを穴あけ面に対し少し傾けた状態にしてください。
 - ③ トリガースイッチを引き、全速回転になったら穴あけ面に刃先をあててください。



⚠ 警告

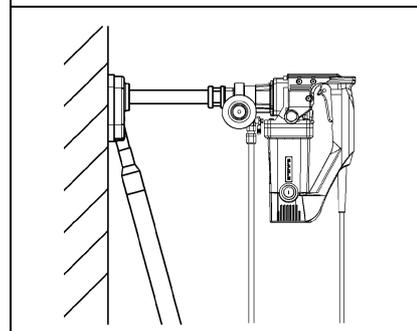
切込み時はアンカービットがブレやすいので注意してください。

⚠ 注意

アンカービットが穴あけ面に接した状態でアンカードリルを始動させると、アンカービットやアンカードリルの破損の恐れがあり危険です。

ポイント

アンカードリルは約2秒で全速回転になります。



- ④ 穴あけ面に刃先が入り安定したら、アンカードリルを戻し、一定の押付力で穴あけ面に直角に押しってください。

⚠ 警告

1. 音や振動などに異常を感じた場合は、ただちに作業を中断して、電源からプラグを抜いてください。
2. モータ回転中は、モータ部の風穴をふさいだり、風穴に物を入れないでください。また回転部分に触れないでください。
3. 穴あけ途中で鉄筋・異物にあたった時は穴あけを中止してください。このアンカードリルは鉄筋切削用ではありません。そのまま穴あけを続けると、アンカービットやアンカードリルの破損および事故などの恐れがあり危険です。

⚠ 注意

無理に穴あけ面に押し付けると、アンカービットの摩耗増加・穴あけ能率の低下を招きます。

ポイント

深穴の場合は、セリが発生しやすくなり穴あけ効率が悪くなります。セリを解消するために切削コアを取除くことをお勧めします。

- 4) 所定の穴あけ深さまで切込んだら、アンカービットを穴から抜いてトリガースイッチを離し、メインシャフトの回転を止め、給水を止めてください。

⚠ 警告

1. 給水を止めた状態でアンカービットを穴あけ面に残すと、ねばりつく恐れがあります。
2. アンカービット内に残った水が飛散しないように注意してください。

- 5) プラグを電源から抜いて、アンカービットの内部を点検し、切削コアが残っている場合は取除いてから次の穴あけを行ってください。

⚠ 警告

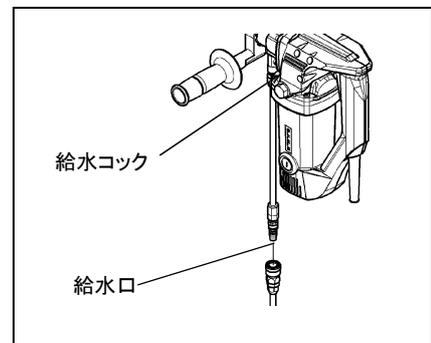
1. プラグを電源から抜く時は、ケーブルを引張らないでください。ぬれた手や手袋で、プラグや電源コンセントに触れないでください。感電する恐れがあり危険です。
2. 穴あけ終了後に切削コアが残っている場合は、アンカービットから切削コアが飛び出さないように注意してください。特に高所作業の時は、切削コアの落下に十分注意してください。

【6】 穴あけ作業終了

- 1) 給水口からホースを取りはずしてください。

⚠ 注意

ホースを取りはずす時に、モータ等に水が飛散しないように注意してください。



- 2) 水処理パッドを穴あけ面から取りはずして、湿式用集じん機のスイッチを切り、ホースを取りはずしてください。

⚠ 警告

水処理パッドを穴あけ面に吸着した状態で、集じん機のスイッチを切ると、水処理パッドが落下する恐れがあり危険です。

⚠ 注意

水処理パッドを取りはずす時、水処理パッド内に残っている排水や、ヘドロが出てくる恐れがありますので注意してください。出てきた排水やヘドロは、湿式用集じん機などで吸取ってください。

- 3) 下記の手順でアンカービットをはずしてください。

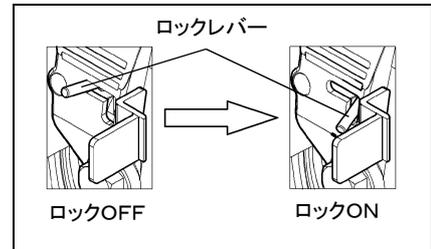
⚠ 警告

アンカービットの取付けおよび取りはずしは、必ず電源ケーブルのプラグを電源から抜いて行ってください。

- ① ロックレバーを右図のように移動させて、ロックする(かみあう)までアンカービットをまわしてください。

⚠ 注意

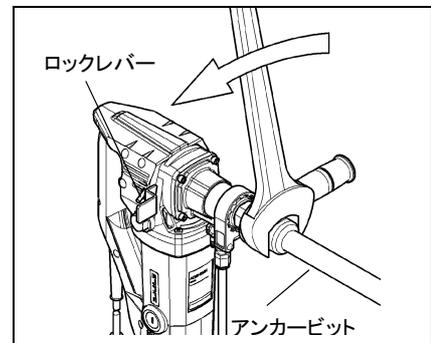
鉄ハンマー等で叩いて、ロックON・OFFの切替えを行わないでください。切替えができなくなる恐れがあります。



- ② 片口スパナ(36mm)をかけてアンカービットをはずしてください。

⚠ 注意

1. アンカードリルの破損の原因となりますので、上記手順でビットを取りはずす時に、スパナを鉄ハンマー等で叩かないでください。
2. 錆付き等ではずれない場合は、必ずスパナを2本使用してはずしてください。



ポイント

アンカービットを取りはずした後、ねじ部にグリースを塗布しておくと、錆付き防止になります。

- 4) サイドグリップを取りはずしてください。

9. 作業中のトラブルと対策

【1】作業中のトラブルと対策方法

- ◎ 作業中に異常を感じたら、ただちに作業を中止して安全な状態で、下表にて原因の調査を行ってください。

トラブル	原因	対策方法
アンカービットの回転が止まった	アンカービットがロックした	「アンカービットがロックした」の項を参照
	ギヤボックス部の故障	修理
	モータが停止した	「モータが停止した」の項を参照
アンカービットがロックした	鉄片または切り粉などが、切削コアとアンカービットの間に挟まっている	本書「アンカービットがロックした場合の解決方法例」を参照
	給水不足でアンカービットが固着している	上記の方法で解決した後に給水量を調整する
モータが停止した	プラグが電源から抜けている	—
	カーボンブラシの異常	本書「定期点検」を参照
	モータ部の異常	修理
モータの回転が遅くなった	作業中一定以上の負荷が加わると、自動的に回転が下がる過負荷防止機能が作動している	穴あけ中の押付力を弱める
振動が大きい	メインシャフトの芯ブレ	修理
	アンカービットの芯ブレ	新品交換
	切削コアが折れている	切削コアをアンカービットから取出す
切れ味が悪い	鉄筋を切削している	—
	給水量が多い	給水量を少なくする
	電源容量が小さい	電源容量を大きくする
	アンカービットの目づまり	ドレッシングを行う
	アンカービットが摩耗している	新品交換
	切削コアが折れている	切削コアをアンカービットから取出す

【2】アンカービットがロックした場合の解決方法例

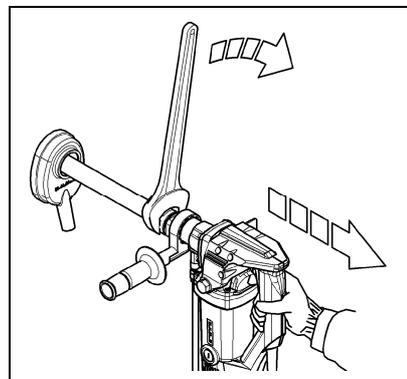
▲ 警告

アンカービットがロックした場合は、ただちに作業を中断し、プラグを電源から抜いてください。

- ◎ 片ロスパナ(36mm)でアンカービットをゆっくり回転させ、アンカービットが抜ける位置を探りながら、アンカードリルを少しずつ引抜き方向に移動させ、穴あけ面より抜いてください。

▲ 注意

アンカードリルを無理にこじらないでください。故障・破損を起こす恐れがあります。また、アンカービットの刃部(チップ)が脱落する恐れがあります。



10. 点検・保守・修理

⚠ 警告

点検・保守の際は必ずプラグを電源から抜いてから作業を行ってください。プラグを電源につないだまま保守等を行うと、感電や事故の原因となります。

【1】作業前点検

- ◎ アンカードリル・サイドグリップ・水処理パッド・アンカービットに、亀裂・破損はないか、またケーブル被覆部・プラグに、亀裂・損傷はないか点検してください。異常があった場合、お買い求めの販売店または、コンセック各営業所にお問い合わせください。

【2】定期点検

1. 各部取付ねじの点検

- ◎ 各部取付ねじのゆるみなどを定期的に点検し、ゆるんでいる所は締めなおしてください。

⚠ 注意

ゆるんだまま使用すると、事故などの原因となり大変危険です。

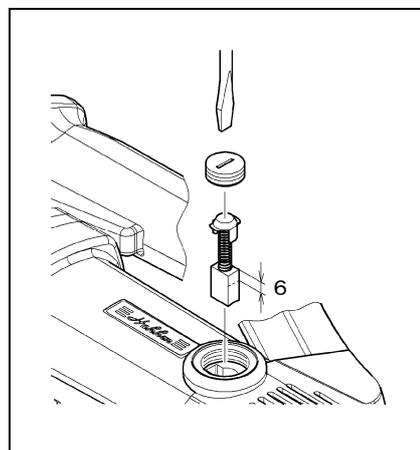
2. カーボンブラシの点検・交換

1) 点検方法

- ホルダキャップをマイナスドライバーなどではずし、カーボンブラシを取出してください。点検後は、ホルダキャップをしっかりと締付けてください。

2) 点検項目

- カーボンブラシの摩耗が大きくなると、モータ故障の原因となりますので、定期的に点検し、長さが摩耗限界線(6mm)くらいになりましたら、新品と交換してください。
- カーボンブラシはきれいにし、ブラシホルダ内で自由にすべるようにしておいてください。



⚠ 注意

当社指定のカーボンブラシを使用してください。

3. グリースの交換について

- ◎ 本製品にはグリースが封入されています。本製品を長持ちさせるために、1年ごとにグリースの交換をお勧めします。その際に、廃棄処理等の問題もありますので、お買い求めの販売店または、コンセック各営業所にお問い合わせください。

【3】保 守

1) 作業後は、表面の清掃を行ってください。

アンカードリルの外枠は、ギヤケース部がアルミ製で、モータ部およびハンドル部が強靱な合成樹脂製です。モータ部およびハンドル部外枠の清掃の時は、乾いた布か石鹼水を付けた布なので拭いてください。

2) モータ部の保守

使用後は、アンカードリルを危険のない状態で無負荷運転させ、モータ内部のゴミ・ほこりなどを排出してください。

3) 吸着式水処理パッドの清掃

水洗いをして、内部の切り粉等を除去してください。

4) アンカービットの冷却・清掃

室温で冷却した後、水洗いして刃およびシャンク部の切り粉を除去してください。

⚠ 注意
水洗い後は必ずねじ部にグリースを塗布してください。そのままにしておくと錆びる恐れがあります。

【4】修理について

- ◎ 本製品は、厳密な精度で製造されています。したがって、もし正常に作動しなくなった場合には、決してご自分で修理をしないで、お買い求めの販売店または、コンセック各営業所にお問い合わせください。
- ◎ その他、取扱い上でご不明な点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

11. 製品の保管

製品や付属品の保管

使用しない製品や付属品の保管場所として、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

- ◇お子様の手がとどいたり、簡単に持ち出せる場所
- ◇鍵のかからない場所
- ◇軒先など雨が降ったり、湿気のある場所
- ◇温度が急変する場所
- ◇直射日光のあたる場所
- ◇引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

このような場所には保管しないでください。

本取扱説明書に記載されている製品の外観などの一部を予告なく変更している場合があります。

× 毛

本製品に関するお問い合わせは、下記アドレスにアクセスしていただき、
最寄りの支店および営業所へ直接ご連絡ください。

<http://www.consec.co.jp/works/hakken.html>

右の QR コードをバーコードリーダー機能付きの携帯電話より読み取ることで、最新の全国営業拠点をご確認いただけます。



株式会社コンセック

〒 733-0833 広島市西区商工センター4-6-8

型式名	ADW-031As	検印
製造番号		

E1920-3